



御在所の風

May
5

志布志市立田之浦小学校
学校だより 文責：長野則子
令和3年5月25日発行

教育目標 「心豊かでたくましい体をもち、自ら学ぶ『田之浦っ子』を育成する」
めざす子どもの姿 【やさしく】思いやりの心をもち、相手を尊重できる子
【かしこく】自ら学び、考え、粘り強く学習を続ける子
【たくましく】命の大切さを知り、自ら鍛える子



そろえる～あいさつ，くつ・スリッパ～

校長 長野 則子

「〇〇さん、おはよう。」「〇〇さん、おはよう。」「おはようございまーす。」「おはようございまーす。」
校門の階段下で、登校した子供たちが元気なあいさつを交わします。私も元気なあいさつをもらいます。
階段を上り校庭に着くと、先に登校し校庭で遊んでいた子供たちからの元気なあいさつの声も響きます。
笑顔のあいさつ、元気なあいさつがとても素敵な田之浦っ子から、元気をもらう毎日です。先日は、
1年生が校長室まであいさつに来てくれました。とても嬉しい出来事でした。



志布志市教育委員会では「志 そろえる」教育を進めており、本校でも「そろえる～あいさつ，くつ・スリッパ～」を子供たちと一緒に取り組んでいます。

あいさつは、仲良くなるための最初の一步。あいさつをする時は、笑顔を忘れずに、相手の目を見て、相手に伝わる声の大きさで言えるといいですね。

あいさつには、「自然と出るあいさつ」と「考えてするあいさつ」の二つがあります。自然と出るあいさつは、小さい頃から家の人や保育園・幼稚園・小学校で「こんなあいさつができたなら素敵だよ」と教えられ、自然と言葉や態度となって表れるもの。考えてするあいさつは、「こんな時には、こんなあいさつをした方がよい」とか「相手のことを考えるとこんなあいさつがよい」と考えた上であいさつをすること。また、挨拶の「挨拶」は、心を開くという意味を、「挨拶」は相手と向き合う・返すという意味があるそうです。大人である私たちが、あいさつの模範を示し、教え、実際の場面で、自然なあいさつや時・人・場にあったあいさつができる子供たちに育てていきたいと思ひます。

くつ・スリッパをそろえることは、後のことを考えて準備すること、他の人がどのような気持ちになるかも考えることができることだと思ひます。校舎入り口の靴箱を見たとき、靴の踵がそろえて入れている様子やトイレのスリッパがきれいにそろえられ並んでいる様子を見ると、とても気持ちよく嬉しい気持ちになります。

5月は、修学旅行や校外学習もあることから、全校朝会で「そろえる～あいさつ，くつ・スリッパ～」について話をしました。田之浦っ子の笑顔で元気なあいさつやくつ・スリッパをそろえる行いが、学校だけでなく家庭や地域でも実践され、みんなを笑顔にしてほしいと思ひます。



パワーアップタイム

本校では、月1回パワーアップタイムを設定しています。パワーアップタイムとは、思考力や表現力を育てるために、関連する問題プリントを行う時間です。学力向上の一環としての取組です。漢字や計算などの基礎的な問題も朝の時間を使って行っています。

